

| 番号 | 種類 | ページ | 意見 | 対応(計画書への反映等) | 委員名 |
|----|--------|-----|--|--|-------|
| 1 | 総計基本構想 | 18 | 施策の大綱3. の9～10行目について、「医療体制の充実による健康寿命の延伸」ではなく、まずは自覚をして、自分のことは自分でできるような健康寿命の延伸が、国や県の掲げている内容です。 先の文章の「送れるようにするため」の後に「健康寿命の延伸を図るとともに」を入れて順番を変えて修正していただくように提案させていただきたい。 | ご意見のとおり修正しました。 | 望月委員 |
| 2 | 総計基本構想 | 12 | 12ページの真ん中あたりに「婦人会、各種団体」が追記されておりますが、婦人会が色々取り組んでいる活動につきましては評価いたしますが、婦人会は自治会の中のひとつの位置づけでありますので、ここに婦人会というのは少し違和感がある。 | 「婦人会をはじめとする各種団体等～」という表現に修正しました。 | 望月委員 |
| 3 | 総計基本計画 | 5 | ダイバーシティの発想のもと、「ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち」という大綱があると 思うんですけど、それをうたっている基本目標の到達基準になっているのが、相変わらず 出生率なんですね。 なぜ女性だけが到達目標を課せられなくてはいけないのか。 社会移動による人口の増減は、全部排除した考え方であり、ダイバーシティで多様性を認 めてくださいという話であればこの数値目標は、何らかの地域の活動、あるいはボランテ ィア活動に参加している参加率とか、そういうもので図られなくてはいけないのであって、あ るいは就業率、有職率、特にマイノリティーに焦点を当てるんだったら、女性の有職率と か、定年後の再雇用率あるいは再就職率。それから障害者の雇用率の話にならなければ いけない。 今裾野市が直面している問題とかでも、いわゆる文化指数、知能の高めの人たちが流入 してくる可能性があり、海外の研究者が調査をはじめようとしている。その中において流入 してくる可能性をもっと考えたほうが良い。要は転出転入の考え方を全く排除した、なぜ出 生率で考えなければいけないのか | ご意見を踏まえ、大綱①の目標を「普通出生率」から「子育て世帯への支援に対する市民満足度」に変更しました。 「人口の社会増減」につきましては、大綱④の目標として定めております。 | 山本睦委員 |
| 4 | 総計基本計画 | 全体 | SDCC構想に書いてあった内容について、実際にキーワードとしてSDCCが入ってないと感 じたが、だいぶ足元でも注目されているような構想なので、総合計画の中にもちりばめて も良いのではないかと。 | 仰るとおり、SDCC構想の9つの取組の方向性に記載している課題については、総合計画 と共有している部分もございますが、総合計画とSDCC構想は別物であると捉えておりま す。 市民に対して説明するときには、しっかりそのような構想もあるよということで、周知を図っ て行きたいと考えております。 | 出口委員 |
| 5 | 総計基本計画 | 全体 | 総合計画というものを取り扱うときは全体のフレームワークということで人口的規模、これ があるかたちのまちをどうやって作っていくか。これがやっぱり大事になってくる。 人口の増減について、「生まれる」というキーワードを、どの数字を活用していくのか。ある いは亡くなるということとの関係性の中で、全体的な人口の比率というのが将来的にどう なっていくのか。ここのところの概念を作っていかなければならない。 10年の全体計画をつくるわけなので、ブレないといったことが良いが、下方修正ではない 上方修正をしなければいけない案件は、きっと出てくるかなと思うので、そういった面 では、それをプラス増としてとらえた計画づくりがこれから動き出す。それが今後実質的に見 えてくると思うので、その辺の意識を少し盛り込んでいただけると良いのではないかと。 | ウーブン・シティ周辺の整備など、現時点でまだ未知数のものが具体的に動き出したとき には、上方修正を含めた計画変更の必要性が出てくる可能性はあると認識しております ので、今後もウーブン・シティの動向を注視しながら臨機応変に動けるよう準備をしてまい ります。 | 藤井委員 |
| 6 | 総計基本計画 | 74 | 自治会加入率のめざそう値が現状値2018年より低くなっているのはなぜか。 | 8割は確保したいということで、めざそう値を「80%以上」としています。 | 望月委員 |

| 番号 | 種類 | ページ | 意見 | 対応(計画書への反映等) | 委員名 |
|----|--------|-----------|---|---|-------|
| 7 | 国土利用計画 | 資料2 6p | ウーブン・シティと合わせて、他にも工業用地が確保できれば、だいぶ企業立地が進むのではと考えている。この開発の広さについて、個人的にはもう少し広くても良いのではないかと感じる。そこら辺の行政の考えについてもお聞かせ頂きたい。 | 現在、調査等を進めている区域等の面積から目標値を設定しております。 | 出口委員 |
| 8 | 総計基本計画 | 国土利用も含め全体 | 実際に、これだけの労力をかけて計画を作られているが、この計画だけを見ると、あれもしますこれもしますと並列式にならべてある。しかし、計画を実施に移すときには当然のことながら優先順位の軸となる、何らかのルールがないと駄目だと思う。そのプライオリティを決める指標とか基準といったルールはあるのか。 | 市の総合計画は基本構想、基本計画、実施計画の3層構成となっております。実施計画には毎年度実施する具体的な事業が並んでおり、「運営方針」という形で、毎年、事業の評価を行っています。運営方針の評価は、各課・各部単位での自己評価となりますが、達成出来たのか、今後も続けていくのか、優先的に高いのかという評価もしております。コロナ禍においては、事業の優先度はそれまでの考え方と異なる部分が出てきますが、通常であれば運営方針に基づいて進捗管理・評価を行うことにより、事業の優先度を判断することになります。 | 山本睦 |
| 9 | 国土利用計画 | | 仙石原新田線とインター線を結ぶ400メートルについて、時代が変わった今、まわりも大きく変わっているし、良いチャンスだと思う。あそこが繋がらないと凄く変な道路になるので、何とかこれを入れられないのか。 | 本計画については、「都市内幹線道路の南北方向、東西方向のネットワーク充実に向けた整備を推進し、市民の都市内移動の円滑化を図るとともに、富士山の世界遺産登録によって、増加がみられる観光客の拠点間アクセスや次世代産業の発展・連携を促す広域的なアクセスの向上をめざす」としており、具体的な路線の整備については、個別計画で位置づけていきます。 | 望月委員 |
| 10 | 国土利用計画 | 7 | 都市においてはエネルギー政策が一番であると私は考える。今はもう石炭開発もだいぶ閉めていこうと世界情勢となっており、再生可能エネルギーも結構だが、住民の声も多くて、市で規制を作れという形で動いている。太陽光発電は確かに景観を悪くしたり、色々な問題もあるが、ある問題も解決するということもあるので、やたら市民の声を聞いて、すぐ作ってエネルギーを作るのを補足する、そういう時にはじっくりと考えて国土計画の方も景観を考えてとの書き方をしているが、エネルギーも必要なものなのでその辺も考えて決定をしていって頂きたい。 | エネルギーも必要であると認識しており、ご意見のとおり、エネルギーと規制の関係は、今後も検討をしていきます。なお、今回、「裾野市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業の調和に関する条例の適切な運用」を新たに記載していますが、本条例は、景観、自然環境、市民の生活環境の保全と再生可能エネルギー発電事業との調和を図り、豊かな地域社会の発展と地球温暖化対策の推進に寄与すること目的としております。 | 市川委員 |
| 11 | 国土利用計画 | 5 | 5ページの真ん中、⑦その他の「東京2020オリンピックの開催」について東京オリンピック全体で裾野市だけではなく、東部全体でオリパラを一つのメインとして盛り上げようとしている時に、パラリンピックを外していることを疑問に思う。 | ご意見を踏まえ、パラリンピックも記載する形で修正しました。 | 山本東委員 |